

『森の子』43人が合宿

子どもたちが身近な自然や地域の文化の親しむ「ふくい秋の自然体験教育森の子合宿」が一日、美山町大宮で始まった。同町の羽生住民センターを拠点に、小中学生が三日まで二泊三日の日程で、里山の探索やそば打ちなど、さまざまな体験に挑戦する。

この合宿は、NPO法人「パートナーシップセンター」が、県内で自然体験活動などに取り組む

美山 山探索、竹炭作りに挑戦

同じNPO法人「グリーンウッド自然体験教育センター」福井県事務所と連携して実施。福井市や武生市など県内の小中学生四十一人のほか、大阪府豊中市の小中学生二人が参加。同事務所の指導者兼成講座を受講した人や、ボランティアがサポートしている。

四班に分かれて活動し、午前中は近くの山を探索、倒木をチェーンソーで切る体験をした。午後



竹炭を作るための準備をする児童たち。美山町大宮で

からは、竹炭作りに挑戦。竹炭の効果や使い方の説明を聞いた後、竹を「川の活動」のどちゅうか切ったり、窯を作ったりを体験。同町のそば道場と手分けして準備し、二「ごっつおさん亭」で、時間ほどで竹炭を作り上。そば打ちを体験する。